

# 平成20年2月教育委員会定例会会議録

## 報告事項

報 第17号 平成20年度読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰の推薦について

西原小中学校課長から、読書活動を重視した取組や実践研究を行うとともに、家庭や地域と連携して読書活動の定着を図っている小学校2校について、県立学校課長から、地域での「よみかたりボランティア」活動により小学校での読書活動の推進に貢献している高等学校1校について推薦したとの説明があり、報告のとおり了承された。

報 第18号 和歌山県立高等学校規則の一部を改正する規則について

報 第19号 和歌山県立特別支援学校規則の一部を改正する規則について

報 第20号 和歌山県立中学校規則の一部を改正する規則について

報 第21号 技能教育施設の指定等に関する規則の一部を改正する規則について

報 第22号 学校教育法施行細則の一部を改正する規則について

県立学校課長から、学校教育法施行令及び学校教育法施行規則が改正されたことに伴い、条ずれ等規定の改正を行ったとの説明があり、報告のとおり了承された。

## 付議事項

議案第59号 平成20年度学校教育指導の方針と重点（案）について

中村総務課長から、教育基本法等の改正や本県における様々な教育課題を踏まえてまとめた「平成20年度学校教育指導の方針と重点（案）」について、市民性を高める教育、「ことばの力」向

上のための教育、教育モラルの改善等、新たに設定した項目を中心に説明があった。

委員から、社会人に必要な能力を身に付けるためには、基本となる国語力が重要であり、ことばで表現する能力を育てる教育に積極的に取り組んでほしいとの意見があった。

委員から、ここに示された内容について、何を大切にしようとしているのかを、学校の教職員と共有するために、研修会を開催してはどうかとの意見があった。

委員から、家庭における教育は重要であり、保護者に対してもこうした内容を積極的に情報提供して協力を求め、学校・地域が連携して、子どもを育てる必要があるとの意見があった。

委員から、日々の授業を大切にし、教員自身がどのようにすればわかる授業や楽しめる授業が実現できるかを考えて、授業力を高めていかなければならないとの意見があった。

教育長から、和歌山の教育に対するイメージを「教育界のガラパゴス」と表現した大学教授がいる。独自の進化を遂げている部分と進化から取り残されている部分の両面があるという指摘である。中には、数十年間同じパターンの授業を繰り返してきたようなケースがあるかもしれない。日々の授業の大切さを認識し、今後は、それを子ども中心の授業となるように変えていきたいとの意見があった。

委員から、より良い教育のためには、家庭における教育が重要であり、学校も積極的に家庭に関わって、社会総がかりで教育を変えていかなければならないとの意見があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第60号 教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（案）について

議案第61号 市町村立学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（案）について

辻本給与課長から、県の財政状況を考慮し、職員の給料月額を減じる期間を延長するとともに、学校教育法施行規則が改正されたことに伴い、条ずれ等規定の改正を行うとの説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第62号 和歌山県スポーツ振興審議会委員の委嘱（案）について

森岡スポーツ課長から、現在15名の委員で構成されている和歌山県スポーツ振興審議会に、新たに1名の委員を追加したいとの説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第63号 和歌山県文化財保護審議会委員の委嘱（案）について

木下文化遺産課長から、1名の委員の辞任に伴い、新たな委員を委嘱したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第64号 和歌山県立紀伊風土記の丘協議会委員の委嘱（案）について

文化遺産課長から、2名の委員の辞任に伴い、新たな委員を委嘱したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第65号 和歌山県職員定数条例の一部を改正する条例（案）について

総務課長から、行財政改革推進プランにおける職員定数の削減計画に基づき、教育委員会事務局の職員定数を減じる改正を行うとの説明があった。

委員から、削減率は知事部局と同率であるかとの質問があり、総務課長から教職員を除く事務局職員とは同率であるとの説明があった。

委員から、定数削減計画について質問があり、総務課長から現行の行財政改革推進プランは5年間であるが、新たな改革プランの制定が検討されており、現在より十数名多い定数減が予想されるとの説明があった。

委員から、地方教育事務所が廃止されている中で、学校や市町村教育委員会への指導等に影響が出ないように、指導主事等の確保に努めてほしいとの意見があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第66号 和歌山県立学校等職員定数条例の一部を改正する条例（案）について

県立学校課長から、市町村立の小・中学校及び県立の中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒数や学級数の変動等に伴い職員定数を改めるとともに、県立の学校以外の教育機関の職員で、育児休業中の者を定数に含めないこととするために改正を行うとの説明があった。

委員から、教職員が一層の資質向上を図るとともに、教育の質に地域格差が生じないように人事運営面からも効率のよい教育行政の実現を図っていかなければならないとの意見があった。

委員から、今後の小中学校数の見通しについて質問があり、池田小中学校課市町村支援室長から、平成20年度は小学校8件の統合があり、9校が休廃校、平成21年度は小中学校あわせて4件の統合が予定されているとの説明があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第67号 平成20年秋の叙勲（初等中等教育局関係）候補者の推薦（案）について

総務課長から、永年にわたり本県教育の充実発展に尽力し、多大な功績を残した元小学校長2名、元中学校長3名、元県立高等学校長1名を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第68号 平成20年秋の叙勲（青少年教育功労関係）候補者の推薦（案）について

萩原生涯学習課長から、ボーイスカウト活動の推進と組織の拡充、青少年の健全育成に貢献した1名を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第69号 平成20年秋の叙勲（体育・スポーツ）候補者の推薦(案)について

スポーツ課長から、柔道の普及と選手の育成強化に指導力を発揮するとともに、本県の体育・スポーツ団体の育成と生涯スポーツの振興に貢献している1名を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第70号 平成20年秋の叙勲（学校保健関係）候補者の推薦（案）について

井上健康体育課長から、永年にわたり海南市立幼稚園、小中学校等の学校歯科医として歯科保健及び健康教育の向上に尽力するとともに、地域医療・地域保健の向上に貢献した1名を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。